

第2回全国U18セブンズ関東ブロック予選大会競技規則

1. 代表者会議：14時に麗澤高校研修寮ロビーに集合。メンバー表提出用紙・入替用紙、レギュレーションの確認を行う。
(大会運営者、チームスタッフ、レフリースタッフが参加)
2. 開会式：15時に開催しますので、グラウンドにチーム毎に並ぶようお願い致します。
第1試合開始は厳守でお願いします。第2試合以降スケジュールどおりに進行しますが、随時試合の進行状況の確認をしてください。
3. アップエリア・時間は、代表者会議にて、最終的にお伝えいたします。
4. 試合前のスタイルチェックは行いませんが、チームで責任を持ってチェックしておくこと。
(爪、ピアス、ヘアピン、ネックレス、指輪、スパイクのポイント)
試合時に違反が確認された選手に関しては、その場で退出し、外したことをレフリースタッフが確認後、再度出場することができます。
プレーする際に、ジャージをパンツの外に出したり、ストッキングを下げて着用することは禁止する。
5. 競技規則：World Rugbyの『2019年度7人制競技規則』による。
ただし、19歳未満の選手には、安全確保のため平成28年改訂(公財)日本ラグビーフットボール協会版競技規則(タグラグビー、U-12ミニラグビー、U-15ジュニアラグビー、19歳未満 国内高専・高校以下用)第五部 19歳未満 国内高専・高校以下用 競技規則を適用する。
第4条 プレーヤーの服装 4.1 追加着用を認めるもの(義務)
WRが追加着用を認めるものの内、以下のものは装着・着用を義務とする。
(f)マウスガード、歯を保護するもの
(g)WR競技に関する規定第12条に適合する IRB(現 WR)マークがついたヘッドギア
6. 競技方法：1日目予選プール順位決定、2日目順位リーグ戦を実施。
(予選プール順位決定方法・順位決定リーグ、勝ち点方法。大会使用球：セプター)
 - ① 予選プールは、3チームずつの3プールに分け、各プールで総当たり戦を行い、試合結果によって以下の勝ち点が与えられる。
【勝利=3点 引き分け=2点 敗戦=1点 棄権=0点】
 - ② 予選プールでの累積勝ち点により、各プールの1位～3位までの順位を決定する。
予選プール終了時点において、2つ以上のチームの累積勝ち点が同点の場合は、下記の基準と順序によって順位を決定する。
Ⅰ) 予選プール全試合の得失点差の最も大きいチームを上位とする。
Ⅱ) 得失点差も同点の場合は、全試合のトライ数の多いチームを上位とする。
Ⅲ) トライ数も同数の場合は、抽選により上位チームを決定する。
 - ③ 順位決定リーグは、予選プールの成績に応じて1～3位・4位～6位・7位～9位の順位決定リーグを行い、試合結果によって以下の勝ち点が与えられる。
【勝利=3点 引き分け=2点 敗戦=1点 棄権=0点】
累積勝ち点により、総合順位を決定する。順位決定リーグ終了時点において、2つ以上のチームの累積勝ち点が同点の場合は、下記の基準と順序によって順位を決定する。
Ⅰ) 順位決定リーグ全試合の得失点差の最も大きいチームを上位とする。
Ⅱ) 得失点差も同点の場合は、全試合のトライ数の多いチームを上位とする。
Ⅲ) トライ数も同数の場合は、抽選により上位チームを決定する。
※4位～6位・7位～9位の順位決定については、1日目予選プール実施後の怪我人等々の状況を確認したいので
1日目終了後、大会本部にお集まりください。
多くの怪我人等が出ている場合は、2日目の上記ルールを変更する可能性も有りますが、ご理解ください。
 - ④ 競技時間：予選プール・順位決定リーグとも、全試合7分ハーフで行ない、タイムキーパー制とする。
ハーフタイム：ハーフタイムは2分以内とする。
ハーフタイムはベンチに戻らず、サイドチェンジと水分補給のみとする。
 - ⑤ 選手とジャージの背番号が必ず一致したメンバー表を提出する。
 - ⑥ 当日の試合ごとの登録選手は12名までとし、競技区域内にいるプレーヤーの人数は7名を超えてはならない。
 - ⑦ 対戦する両チームのジャージ、柄が似ている場合、コイントスに勝利したチームが着用ジャージの選択権を得る。
 - ⑧ 得点方法
ペナルティトライ：相手側の不正なプレーがなかったならば、ほぼ間違いなくトライが得られたものと認められた場合はペナルティトライが与えられる。コンバージョンは行わない。得点：7点

- ⑨ 時間：時間が経過した後、ペナルティキックを直接蹴り出した場合、レフリーはボールの投入(スローイン)を認め、次にボールがデッドになるまでプレーは続行する。
- ⑩ アドバンテージ：同じチームによる複数の反則が生じた場合、レフリーは、反則をしなかった側のキャプテンに最も有利なペナルティの地点を選ばせることができる。
- ⑪ キックについて：
 - ・コンバージョンは 30 秒以内。それまでにプレーしていたボールでキックを行う。
 - ・トライを取られたチームはすべて自陣の 10 メートルラインの近くに行かなければならない。その地点での給水可能。
 - ・ペナルティゴールも 30 秒以内。
 - ・試合再開のキックは、ペナルティキック、または、ドロップゴールが行われ成功、もしくはデッドとなってから 30 秒以内に行われなければならない。
 - ・ペナルティキック、または、フリーキックは、与えられてから 30 秒以内に蹴られなければならない。
- ⑫ ブレイクダウン：
 - ・タックラー、アシストタックラーは相手を離して「スペース」を作る。
 - ・自立したコンテスト（スタンディングプレーを重視し、倒れ込みを繰り返さない）。
 - ・攻撃側も防御側もタックルゲートをとおる。
 - ・タックルされたプレーヤーが、ボールを放す前に体の位置を動かすこと
- ⑬ スクラム：
 - ・味方のプロップ同士のバインドは不可。
 - ・スクラム終了までバインドを継続。
 - ・レフリーはボール投入の合図はしない。
 - ・両チームとも、レフリーがスクラムのマークを示してから 15 秒以内にスクラムが形成できる状態になっていなければならない。
 - ・フッキングをしなければならない。
- ⑭ ラインアウト：
 - ・スローワーの相手側のプレーヤーは、**マークオブタッチおよび 5 m ラインから 2 m に位置しなければならない。**
 - ・レシーバーを用いる場合は、**ラインアウトから 2 m 離れる。**ラインアウト開始後であれば加わることは可能。
 - ・両チームとも、レフリーがボールの投入位置を示してから 15 秒以内にラインアウトを形成しなくてはならない。
- ⑮ ファールプレー
 - ・危険なタックル、肩より上に入るタックルはたとえボールに対してプレーをしていてもハイタックルとなる。
 - ・笛（タッチに出た）にボールを離さない、投げる ⇒ イエローカード。
 - ・笛（タッチに出た）の後にはボールは速やかに放す、その場に置くこと。
 - ・トライの後に明らかに不必要なチャージをおこなう行為もシンビンとなる。

7. 試合出場選手背番号について

大会出場選手の背番号については、No. 1～No. 12 とする。その他の背番号は認めない。

※例外）怪我等で血がついたジャージの場合は上記番号以外を認めるが、大会本部まで必ず報告をする事。

8. コイントス

大会本部前にて試合担当レフリーにより実施する。第 1 試合については試合時間の 20 分前、以降は、前の試合のハーフタイムに実施する。その時間に一方のチームしかいなかった場合は、そのチームに選択権を与える。

また両チームが来なかった場合は、レフリーが決定する。

9. メンバー表の提出

試合開始 30 分前までに各グラウンドの大会本部に提出すること。

10. 選手の入替・交替

選手の入替、及び交代の際は大会本部にて準備する「選手入替・交替申請用紙」を使用し、第 3AR へ提出すること。リザーブ選手は、1 チームあたり 5 名以内とし、その 5 名まで入替、あるいは交替することができる。**戦術的理由で入れ替わったプレーヤーは、負傷したいずれかのプレーヤーの交替として、その試合に再び加わることができる。**

11. シンビン・ブラッドビン

- ・シンビン：イエローカードを提示された際の一時的退出時間は 2 分間(オンプレタイムで計測)。
また、1 試合の中で、同一競技者が 2 回の警告が与えられた場合は、退場処分とする。
大会期間中でのイエローカード累積 5 枚に達したものは、1 試合中に 2 枚イエローカードをもらわない限り、継続してその試合には出場できるが、次の 1 試合には出場できない。
レッドカードを提示された際は、即退場処分とし、次の 1 試合には出場できない。

- ・ブラッドビン：出血処置による一時的交替は15分以内。(15人制同様ルール/ランニングタイムで計測)
 - ※止血処置はマッチドクターが対応、再出場の判断はアシスタントレフリーの確認を必要とする。
 - ※マッチドクターは、レフリー、及びアシスタントレフリー要請に応じて処置をし、その際は出場可否の判断をする。

- 1 2. 今大会、マッチドクターが待機、本部にてメディカルバック・氷・水は用意していますが、各チームでメディカルバックを用意、怪我予防は各選手が行う。
 - また各チーム、グラウンドに入れるメディカルは1名、ウォーターは2名とし、協会が用意するビブスを着用する事。
 - ※メディカル用品、氷は、各チームで用意すること。
 - ※コーチ、リザーブの選手は、ARの邪魔にならないスペースで待機すること。

- 1 3. ボールパーソンについてチームよりお手伝いをお願いします。
 - 第1試合については、埼玉・山梨合同が対応。第2試合以降、自分達の試合終了後、次試合について、両チームの選手2名ずつボールパーソンお願いします。
 - 試合球・ビブスは大会本部にあります。お手伝いをする選手は、試合終了後、大会本部まできてください。

- 1 4. 帰る前に、チーム席のゴミ、忘れ物の確認し、ゴミは各自持ち帰る事。